

2025 年 9 月 9 日
株式会社サティスファクトリー

9/26 開催「正しく効果的な循環」を 動静脈連携で推進する循環実装セミナー

ー資源循環のサティスファクトリー、モノづくりのパックエールと協働

株式会社サティスファクトリー（東京都中央区／小松武司）と、株式会社パックエール（埼玉県春日部市／内村元一）は、2025 年 9 月 26 日に「静脈業界とつくるモノづくり企業のサーキュラーエコノミー」と題した共同ウェビナーを開催いたします。講演では、国際規格 ISO59000 シリーズに基づき、製品設計（動脈）と回収・再資源化（静脈）の両面から、循環の仕組みをつくる上での実践的な視点を提示します。特に「設計」の分野を専門とする企業と静脈業界が連携する取り組みは業界内でも珍しく、サーキュラーエコノミーの実装に向けた新しいアプローチを示すものです。

The graphic is a blue-themed promotional banner for a webinar. On the left, a dark blue rounded rectangle contains the title '静脈業界とつくるモノづくり企業のサーキュラーエコノミー' in white, with the subtitle 'ISO59000で読み解く製品ライフサイクルのこれからの視点' below it. Above this rectangle is a small dark blue tab with 'オンラインセミナー' in white. To the right, a white rounded rectangle with a dark blue border displays '9/26' in large blue font, with '14:00~15:00' in smaller blue font below it. Above this rectangle is a small dark blue tab with '生配信' in white. Below the date box, a blue banner with a megaphone icon contains the text '資源循環に取り組みたいメーカー担当者におすすめ'. At the bottom left, the logos for 'PACK YELL' and 'Satisfactory' are shown, separated by a '×' symbol. The Satisfactory logo includes the tagline '社会を100年先に繋ぐ'. At the bottom right, a small line of text reads '10/2にアーカイブ配信もご覧いただけます'.

オンラインセミナー

静脈業界とつくる
モノづくり企業の
サーキュラーエコノミー

ISO59000で読み解く製品ライフサイクルのこれからの視点

生配信

9/26
14:00~15:00

資源循環に取り組みたい
メーカー担当者におすすめ

PACK YELL × Satisfactory 社会を100年先に繋ぐ

10/2にアーカイブ配信もご覧いただけます

背景 | ISO59000 が示す、循環の新しい共通ルール

サーキュラーエコノミーの推進には、製品設計（動脈）と使用後のリサイクル（静脈）の両輪が欠かせません。しかし現状は**処理段階を考慮に入れない設計**が実際の循環を作る際に大きな課題となっています。

2024 年・2025 年に発行された ISO59000 シリーズは、サーキュラーエコノミーを事業活動に組み込むための国際的なガイドラインであり、**設計から運用・評価までを包括的に示すフレームワーク**を提供します。これにより、複数の企業が協力してサプライチェーン全体で資源効率を最大化するための指針となります。

概要 | なぜ「動脈×静脈」の視点が必要なのか

サーキュラーエコノミーの実現には、正しい尺度と知識、そして分野を越えたパートナーシップが不可欠です。しかし現場では「設計だけ」「リサイクルだけ」と部分最適に留まりがちで、全体最適が語られる機会はこれまで多くはありませんでした。

そこで、製品設計のプロであるバックエールと、廃棄物・リサイクル分野を専門とするサティスファクトリーが協働し、ISO59000 に基づき動静脈の両面からサーキュラーエコノミーを推進する実践的アプローチを提示するウェビナーを企画しました。

開催概要：

静脈業界とつくるモノづくり企業のサーキュラーエコノミー ～ISO59000 で読み解く製品ライフサイクルのこれからの視点～

日時	2025 年 9 月 26 日（金）14:00～15:00（生放送） 2025 年 10 月 2 日（木）13:00～14:00（録画配信＋リアルタイム質疑）
形式	オンライン（Zoom ウェビナー）
対象	・サーキュラーエコノミーに取り組む上で、何から始めてよいかわかりにくいの方 ・自社製品がリサイクル可能か判断に迷う設計・調達・製造部門の方 ・リサイクル業界に接点を持ちたい方
申込方法	下記 URL からお申し込みください。（無料） ■生放送回：2025 年 9 月 26 日（金）14:00～15:00 https://share-na2.hsforms.com/1T63A9-9yTx-F_O-4WtbPVQeirn3 ■録画配信＋リアルタイム質疑回：2025 年 10 月 2 日（木）13:00～14:00 https://share-na2.hsforms.com/1-r6K4PrbTqqAGJDIWmPGEgeirn3
登壇者	株式会社バックエール 代表取締役 内村 元一 株式会社サティスファクトリー サステナビリティ推進室課長 上木 康太郎
プログラム	1. サーキュラーエコノミーの潮流と ISO59000 の意義 2. ISO59000 が示す製品ライフサイクルの新視点 3. 現状のサーキュラーエコノミー推進上の課題 4. モノづくりの立場から見た動静脈連携の重要性 5. 協業で目指すサーキュラーエコノミー 6. 質疑応答
共催	株式会社サティスファクトリー、株式会社バックエール

本ウェビナーの特徴：

- ✓ サーキュラーエコノミー推進上の課題を整理し、あらかじめ対処できる
- ✓ 国際規格を基に動静脈連携の重要性を学び、次の行動を決定できる
- ✓ 製品設計と再資源化の両面から、自社の取組みを再点検できるヒントを掴める

展望 | 業界横断で挑む循環の仕組みづくり

今回の議論を出発点に、次回以降は企業が具体的にアクションを起こせる情報を継続的に提供します。今後、サーキュラーエコノミー推進に課題を感じる企業様へ向けて具体的な課題解決に向けたサポートを行います。また、動静脈連携の輪を広げ、サーキュラーエコノミー実現における”ハブ”機能を担います。

企業情報

PACK YELL

株式会社パックエール

サーキュラーエコノミーにおける「動脈産業」の視点から、包装材・製品の企画開発やコンサルティングを展開。最新の国内外動向に基づく情報発信と実務支援により、企業の循環型社会への取り組みを加速しています。

--

所在地： 埼玉県春日部市南一丁目1番地7号

代表者： 代表取締役 内村 元一

事業： 包装コンサルティング事業／サステナビリティ戦略支援事業／
業界動向レポート発行／講演・教育研修事業



社会を100年先に繋ぐ

Satisfactory

株式会社サティスファクトリー

廃棄物に関わる課題解決を通じ、環境コンサルティングを行う企業。国内4,000社以上の処理業者ネットワークを活かし、静脈産業における深い知見を基盤に仕組みづくりを支援しています。

--

所在地： 東京都中央区八丁堀3-12-8 HF 八丁堀ビルディング6F

代表者： 代表取締役 小松 武司

事業： 廃棄物マネジメント事業／環境コンサルティング事業／再資源化プロダクト事業

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サティスファクトリー 広報担当 consulting@sfinter.com